

釧路南ロータリークラブ会報

第36回 例会報告 2011.4.1 通算1390回

・点 鐘 木内会長

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 佐野 実会員

・会長挨拶



会員の皆様こんにちは、先週の例会では、IM（インターミティング）の開催について、会員との中で、色々なお話が交わされましたが、日本で最大の地震と想像を絶する津波により、多くの人命が失われました。また、いまだ多くの行方不明者がいる中、IMを開催するには、私、個人からみても疑問が残る感じがします。会員も同じ気持ちであることが分かり、安心しているところであります。また、IM実施日の4月16日（土曜日）に開催する運びになっておりますが、時期を5月か6月に変更することが望ましい

との結論になりました。4月9日（土曜日）に会長、幹事会が招集されますが、会としてのIM開催についての発表をしてきます。先日、幹事とIMについてお話をしましたが、会として参加はしないが、人头分担金（参加料）は振込み済みで、南クラブが参加しない分、経費が浮く分、義援金が多くなるので、考え方にもよるが、クラブとして貢献できる部分があると、また、送金される義援金が、どこに送金されるかも分からない、送金名はガバナー会と矛盾することが多く、不振に思う他のクラブ会員も多いようです。今日例会終了後、理事会にて、クラブとしての、義援金をどうするか、IM開催について最終判断を決定しますので理事、役員はお残り下さるよう、お願い致します。以上、会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告 菅井幹事の代理で工藤ゆかり会員



会員の皆様こんにちは！

- * 釧路市女性団体連絡協議会から「きずな」を拝受しております。
- * 国際ロータリー2500 地区より東北大地震の義援金のお願いと支援物資に関するご協力のお願いが届いております。
- * 米山梅吉記念館より、館報が届いております。
- * 4月のロータリーレートは1ドル80円となっております。
- * 富良野RCより創立50周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。出席希望の会員の方は、会長か幹事までお知らせください。

・委員会報告

出席委員会

会員 26 名 11 名出席 出席率 42.3%

ロータリー情報委員会 北上委員長

4 月 2 日キャッスルホテルでオリエンテーションを開催します。7 名の出席です。

次年度幹事 佐藤玄史会員



4 月 23 日（土）と 24 日（日）に地区協議会が旭川グランドホテルで開催されます。前段で米山記念奨学会、会員増強委員会セミナーが開催されます。

・本日のプログラム

「 会員卓話 」

担当 クラブ運営委員会

・伊東 良孝会員



国会が年度末の大詰めを迎えていますので、今日は帰れないかもしれないと思っていましたが何とか飛行機に間に合いました。今回の東日本大震災の災害対策本部でさまざまな援助や手助けをさせて頂い

ています。私が北海道出身という事で、ホクレンから牛乳 1 万 5 千リットルやパルライスで作ったおにぎりを 3 万個送りたいという申し出がありました。しかしおにぎりは賞味期限が 4 0 時間と言う事ですので被災地に届けるまでに時間が足りません。県や市町村単位で直接その場に行って炊き出しをするような形でなければ厳しい物であります。義援金の話ですが義援金が被災者に渡るまでにものすごい時間がかかる。被害の状況を集約して公平に配る物ですから時間がかかりすぎる訳です。今、被災地で一番必要としているのはガソリンです。タンクローリーや貨車で運んでいますがそれでもまだ行きわたっていません。復興には 10 兆円か 20 兆円も係ると言われています。1 日でも早く復興できるように私も頑張っています。

・佐藤 了会員



本日は、会員ミニ卓話ということで音楽の話を見せて頂きます。お話の前に、このたびの被災された方々が、一日でも早く復興されますようにと心から願ってやみません。さて、さて私たちが暮らすこの水や生物も含め自然が生み出す様々な音で満ち溢れています。風が木々を揺らし、隙間を通り抜ける音。岩石をも砕く噴火や地鳴り、携帯や強弱のエネルギーを自在に変化させ滝や波の音をも作りだす水。生き物が発する振動や小鳥のさえずり、クジラなどの水棲哺乳類のお喋りや警戒音など様々な音を聞く事ができます。今回は振動を音と感ずる能力や認識し伝達する方法、学習や道具に用いるという所までは広げないで、本日のテーマは「音を楽しむ」の文字通り音楽に絞って行きたいと思ひます。

昨年 9 月 1 1 日、川湯御園ホテルにおいて、釧路

南 RC 観楓会例会の宴席余興のなかで、高橋竹山以来の生三味線演奏を聴く機会がありました。その宴席で私がふっと疑問に思った質問を、セミプロ三味線奏者の当館料理長に三味線の三本の解放弦は何音ですかとお聞きしたところ、頂いた答えが私にはまだ理解できないまま宿題になっています。因みに弦楽器のギターの解放弦は太い弦から、ミラレソシミと決っており、三味線の解放弦は何音なのかなと興味での質問でした。雑学になりますが、ギターの糸巻きの部分はヘッド、指で押さえる部分はネックと言います。三味線では同部分、天神と棹の名称がついています。三味線の解放弦に興味を持ったお話からしましたが、地球上すべての音の中に、人間の大多数の方が、好む音や嫌う音ノイズと言われる物があります。又、皆様もご存じの通り、音の高低や重さや軽さを感じる音もあります。音は物質の振動や周波数すなわち Hz（ヘルズ）によって、作られて伝わっております。先ほど弦楽器の話が出ましたが、太さや細さや抑える位置による振動や周波数の変化が生じ、それがドレミの音階として聞こえてきます。ブラスバンドやエレキバンドに参加された経験がある方はご存じでしょうが、全体の音を合わせるチューニングに鍵盤楽器の A4 のラの音を基準音にしています。一般的に聞こえやすいからだと思いますが、時報の最初の 3 回は 4 百 4 0 Hz、最後の 1 回は 8 百 8 0 Hz の音階、ラの音です。自然音にも造作音にも一定のリズムがあり、人が好み、リラックスできるゆらぎと言われるエフ分の 1 即ち、命のリズムがあると言う事が知られています。

音楽の三大要素にリズム・メロディ・ハーモニーがあります。リズムは、一般的な 4 分の 4 やワルツの 4 分の 3、ジャズなど変拍子の 4 分の 5 など 2 百以上あり、音色も管楽器や弦楽器など数多くあります。それらを複合させ奏でること、すなわちメロディや構成音（和音）と言われるハーモニーをお約束のルールの中で操ると、人にリラックスやファイトが出させる様な音楽と成って行き、楽しさや色々な場面に合わせる作曲して行くことができます。

皆さんもシャープとフラットと言う言葉は音楽の授業で習ったはずですが、譜面にシャープがあればその音は半音あげるとか、フラットがあれば半音下げるとの約束があります。私も過去にバンドを組み、そこでシンセサイザーを担当した事があり、それ以来、デジタルキーボードは私の趣味の一部です。最後になりますがその鍵盤の黒鍵に 2 個と 3 個の間に、

お約束と秘密があるというお話を、次回がありましたらその所を浅く広くお話出来ればと思いついて終わらせていただきます。有難うございました。

・長倉 巨樹彦会員



中小企業の労災に関わる事で今回の東日本大震災に絡めてお話しします。今回の大震災で仕事に被災された場合は労災適用になっています。阪神淡路大震災の時にも適用になっています。詳しくは厚生労働省のホームページに載っています。今回も 1 万人ぐらいいは該当するのかなと思います。

最近の弁護士の仕事に債務問題の次に労災問題が増えてきています。仕事の残業で過労死が増えて労災認定になっています。労災認定人になるという事は、会社側にいくらかの責任があるという事になります。たとえば海のそばで仕事をしていて津波が来る事が分かっているながら従業員を避難させないで仕事をさせた場合は適用になる。地震によって転落や落下による災害にあう場合もある。土木ですと掘削した穴で生き埋めになる場合もある。製造業では倉庫で資材が落ちてきて被害にあう場合もある。この様な事から賠償請求が起こってくる可能性があります。地震があっても被害にあわないように安全な環境を作らなければいけないわけです。



・次回のプログラム

4 月 8 日（金）

「ロータリー雑誌月間について」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：ロータリー情報・メディア委員会

・点 鐘 木内会長

今週の会報担当：福井克美会員